



心ひとつに

校訓「心ひとつに 明日を拓く」
教育目標「気づき、考え、行動する生徒の育成」

美郷町立美郷中学校
令和6年11月22日
文責：校長



* 本校ホームページ→

少人数加配校訪問 授業研究会



本校は1つの学級の授業を複数の教員で指導するなどの少人数学習を推進する、少人数加配校になっています。19日には、

今年度の少人数学習への取組の検証と、TT(チームティーチング)による英語の授業研究会を行いました。本校では主に英語と数学の授業においてTTを中心に少人数学習を行っています。指導者として来校したのは、秋田県教育庁南教育事務所雄勝出張所の〇〇〇〇指導主事と〇〇〇〇指導主事でした。

本校の少人数学習の取組については、「趣旨を踏まえた運用が図られている」「目的達成のための校内体制が整っている」「生徒の意識調査の結果が良好である」といった評価をいただきました。また、今後に向けて「チームを作って授業する際の教員同士の効率的な打合せや効果的な役割分担」、「習熟度別・課題別・コース別学習の推進」等についてお話をいただきました。



授業は、3年3組で〇〇〇〇教諭、〇〇〇〇教諭、ALTの〇〇〇〇先生による英語の授業でした。来月本校を訪問するタイの王国アニュラチャプラシット校の生徒に自分が紹介したい人物の魅力が伝わるように話すことを目指した内容でした。グループのメンバーを変えながら、複数回英語で紹介したり、修正を加えたりする活動を通して、表現力が高まっていくのを感じました。



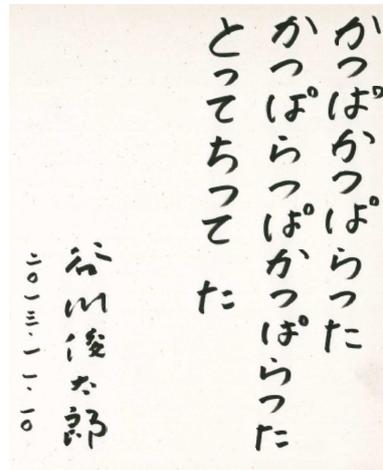
授業参観後は全職員で研究協議を行いました。学びの深まりや停滞が感じられた学習活動とその要因は何か、本校が目指す生徒指導の実践上の視点を生かした授業展開になっていたか、TTの授業の効果等について検証を行いました。判断基準は全て生徒の姿です。生徒の主體的・対話的で深い学びにつながるように、今後も授業改善を進めてまいります。



互いのよさを!

21日に2年生を対象に、わらび座の〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんを講師にお迎えして「コミュニケーション教室」を実施しました。会話をしながら多様なゲームを通して他者理解の姿勢や自己表現力を身に付けたり、自他のよさや違いを認め合い、協力して生活することの大切さに気付いたりすることを目指しました。

相手の目を見て話したり、聞いたりすることの大切さも再確認することができたようです。AKT秋田テレビの方々も活動の取材に訪れました。



来校時にいただいた直筆の色紙

13日に本校の校歌の作詞者である谷川俊太郎さんが逝去されたとの報道がありました。「生きる」「朝のリレー」など谷川さんの詩は、小、中学校の教科書に長年にわたって掲載されています。数多くの作品に紡がれた珠玉の言葉と感受性は、多くの人の心に刻まれています。

校歌の歌詞は美郷町の四季を織り込みながら、子どもたちの健やかな成長を願う表現が綴られ、本校の校訓の基にもなっています。著名な詩人の作詞による校歌は子どもたちの誇りであり、その思いは生涯にわたって持ち続けられるはずで、2013年11月には谷川俊太郎さんが本校を訪れ、全校生徒に「みんな違っていてもそれを認め合う。自分たちと違うものを排除したり、いじめたり、否定したりしないことはすごく大事なこと。」と語りかけてくれました。

谷川俊太郎さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。